

第45回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

【開催概要】

日 時 令和6年11月11日(月) 13時30分～14時30分

場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室

出席者 16名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	流通情報工学科教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斉	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	欠席
尾道地区旅客船協会	事務局長	柳井裕志	欠席
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	○
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	信谷俊樹	○
大崎上島町連合区長会	副会長	山田泰三	○
大崎上島交通問題協議会	会長	閑田大祐	○
大崎上島町商工会	副会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	欠席
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太	欠席
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	築山泉美	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	蔦 真	○ (web)
広島県地域政策局	公共交通政策課長	丸石圭一	○ (代理 河越信二郎)
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	田山陽次	○
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	○
大崎上島町	地域経営課長	三村竜也	○
大崎上島町	建設課長	藤原通伸	○

傍聴者 無し

【議 事】

1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

2. 議 題

(1) 報告事項

①高速船運航休止の届出の提出等について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいまの説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。
委 員	パブリックコメントはいつどのような形式で行われる予定になっていますか。
事務局	パブリックコメントは中国運輸局において実施されることになりますので、時期等の詳細については事務局ではわかりかねます。
委 員	パブリックコメントについては、サービス基準を満たすよう増便する場合は不要で、サービス基準を引き下げることとなった場合に実施する手続きになります。今後の関係者協議によってどちらになるかが決まってくるかと思います。 住民の方から、運航回数や運航時刻等に関するご意見や要望は町に寄せられているのでしょうか。住民のニーズ把握をされているかどうかを教えてくださいたいです。
事務局	フェリーの運航を維持して欲しいという声はいただいています、具体的な運航回数や時刻に関する要望はありません。
委 員	フェリーの運航回数は呉市との協議で決まると思います。2往復増やす場合には町が費用を負担するのですか。呉市も負担することになるのでしょうか。
事務局	現在、明石～小長フェリーについては呉市が負担金を支払って運航しています。今後の負担金や運航便数に関しては、呉市と運航事業者も含めた協議において調整を図る必要があります。
委 員	広島ゆたか農業協同組合への支援について記載がありますが、金額はいくらですか。
事務局	国の離島活性化交付金ですが、令和6年度については約45万円です。
委 員	竹原市の令和5年度観光客数が増えたと記載がありますが、コロナ禍が終わったから増えたのであって、竹原市だけで観光が増えている訳ではありません。

②自動運航型旅客・貨物輸送サービス導入及び効果検証等業務について

事務局	<資料説明>
委 員	金土日の夜間便には運航ダイヤの指定があります。予約が無い場合でも運航するというのでしょうか。
事務局	乗船者情報を事前に得るため予約は必須としますが、予約の有無に関わらず各港から定刻どおり出発します。

(2) 協議事項

①コミュニティバス「おと姫バス」の見直しについて

事務局	<資料説明>
議長	デマンド型おと姫バスについては乗降ポイントを増やしたいということと、定時定路線型おと姫バスについては一部をデマンド化したいということでした。また、バス運賃を100円から200円に見直したいというご説明がありました。これらについて質問等ご意見等ございましたら、よろしくお願いします。
委員	広島叡智学園の生徒にいろいろな意見を聞きました。運賃が100円から200円になると非常にきついです。生徒が年間で1,500人くらい利用していると思います。1,500人が200円で利用したとしても30万円程度です。大崎海星高校と広島商船高専は必要な物があればすぐ近場にスーパーがありますが、広島叡智学園の場合は土日に行くしかありません。そのため、運賃が倍になることに大きな拒否感があります。できれば、高校生までは100円を維持していただければありがたいです。高速船の休止で5,500万円程度浮くのであれば、何らかの形で補填できないかと思います。
事務局	運賃を変更する場合は年齢での制限になります。広島商船高専や大崎海星高校にも18歳の生徒がいますが、広島叡智学園だけを運賃100円にするのは厳しいと考えています。
委員	財政的に厳しいということでしょうか。
事務局	運賃のやり取りなど全てを含めてのことです。
委員	財政状況は決して逼迫している訳ではないと理解しています。30万円程度の補填は可能ではないかと思います。
事務局	さんようバス株式会社と協議しているところですが、さんようバス循環線は最大で65人乗車できますし、運賃は従来どおり100円で運行する予定です。できればこちらを使って欲しいというのが今回の料金改定の趣旨でもあります。
委員	土日祝の定時定路線型おと姫バスを増便してもらえるとありがたいのですが、難しいのであればデマンド型おと姫バスになります。運賃値上げで人の流れが1～2割、あるいはもっと減ると思います。ユアーズ、ウォンツやフレスタに行く機会が減り、微々たるものですが売上も減ります。大変な額ではないので考えて頂きたいです。
議長	デマンド型おと姫バスの利用者の約5割が10歳代です。それらを100円とする場合、かなり収入に影響すると思います。そこは利便性との兼ね合いもあると思いますし、教育の島として町のスタンスもあるかもしれませんが、全体としてマイナスは大きい気がします。その辺はまた計算していただくことになろうかと思います。
委員	運賃の値上げありきではなく、もっと根本的なところを議論してもらいたいです。
事務局	利用者一律で運賃は200円に見直した上で、例えば、証明書等の提示による学割のような形式は検討の余地があると思います。
委員	学割はやるかもしれないけれども、現状の100円を維持するという検討はできないということですね。
事務局	200円に決めた上で、町内の学生や、その年齢幅であれば身分証などを提示していただければ、学割のような感じで乗車していただくという方向かと思います。

委 員	学割パスみたいなものを発行していただければよいと思います。
会 長	全体として約5,600万円の必要経費が見込まれ、その経費は住民の皆さんが負担することになります。ご意向に沿える結果になるかどうかは別ですが、その辺りも考えながら、どうしていくかということなると思います。
委 員	デマンドバスの収益率を上げる場合、できるだけ相乗りで利用してもらうことが大事かと思います。1人で利用するとタクシーに近いくらい利便性がある100円となると非常に安価です。相乗りで利用してもらうことが収益率の改善に繋がるかと思うので、実務的には難しいかもしれませんが、相乗りで利用した場合にはいくらか割引するとか、そういう角度からの検討が今後の方向性としてあってもよいと思いました。
委 員	6月27日に開催された第43回協議会において、令和6年度の事業計画で、竹原～大長間の高速船の利用分析を実施して、運航休止に伴う対応策を検討すると説明がありました。今後、利用分析の結果を提示する予定はありますか。また、コミュニティバスの時刻の見直しを検討中ということですが、その結果は次回の協議会で示されるのですか。
事務局	高速船で通勤する利用者に聞き取りを実施しました。本土から大崎上島町への通勤者に対してはフェリー到着後の陸上移動を補完できるように、大崎上島町から本土に通勤する人に対しては午前6時30分垂水港の始発便に間に合うように、定時定路線型おと姫バスの運行時刻を見直す予定です。また、高速船の最終便は19時47分竹原港発ですが、令和7年度以降の代替手段となるフェリーが港（白水港、垂水港）に到着した後の陸上移動を補完できるよう、定時定路線型おと姫バスの運行時刻を見直す予定です。
委 員	デマンド型おと姫バスの予約は、利用3日前より少し前から可能にはなりませんか。
委 員	あまり予約が早い場合、キャンセル忘れによるトラブルが発生することがあります。その場合、5分間は待ちますが、そのせいで次の配車ができなくなることもあります。
委 員	そういったことも踏まえながら、検討していただけたらと思います。
議 長	定時定路線型おと姫バスは、現在あまり使われていない路線を減らす方向で、使われている路線はできる限り残すというイメージでよろしいでしょうか。
事務局	はい。買い物や通院で多く使われている路線を残すイメージです。
議 長	ときや医院に行く人はデマンド型おと姫バスをあまり利用していないようです。一方で、定時定路線型おと姫バスでは土曜日にときや医院方面へ行かれる方がよく利用していると聞きます。土日はさんようバス循環線が運行していないため、そこでは定時定路線型おと姫バスを残していくのか、またはデマンド型おと姫バスにシフトできるのかということもありますので、検討いただければと思います。たくさんの意見が出ましたので、事務局でまとめていただければと思います。コミュニティバスの運賃については、200円で調整することになるかと思います。広島叡智学園の生徒の話がありましたが、何かアイデアがございましたら、引き続きご検討をお願いしたいと思います。

3. 閉 会

以 上